

本庄駅北口周辺整備に向けた市民ワークショップ（第3回）

日 時：2020年2月16日（日）10:00～12:00

場 所：はにぼんプラザ 多目的ホール

出席者：32名

テーマ：見えてきた方向性を議論しよう！！

内容

1. 開会挨拶
2. 議事
 - ・写真イベント報告、前回の振り返り
 - ・グループワーク説明
 - ・グループワーク、発表
3. 総括・閉会あいさつ

会議風景



各グループ発表内容

A班

A班は「学生も利用しやすい本庄駅～欲しい！憩いの場と緑 everyday安心安全!!」という将来像とした。将来像に向けて5箇条設定した。

話し合いをするにあたり最初に出てきたのが「カフェ、スタバのような憩いの場がほしい」という意見だった。私は今回を含めた3回のWSの場で「スタバがほしい」と発言していたが、若者はそういった店がほしい。

続いて、「通学路を安全に！」ということで、通学路に関する意見が多く出た。私は本庄東高校に在学しているため自転車で通学しているが、通学路は道路が狭く自転車で通りづらい。誰もが安全・安心に通れるような道路が良いと思う。

次に、本庄駅北口には居酒屋が多い印象があり、女子高生が遅い時間に帰ってくると街灯がなく暗く怖いイメージがあるため、「夜も安心に！」とした。

4箇条目は「緑がほしい！」とした。本庄駅前には緑が少ないという意見があるが、歩道に木を植えればいいのかという、道が狭いため現実的には難しい。そのため、旧ビバホームの跡地を大きな公園にすることで緑を増やしたらどうか。公園で学校のイベントなどを開催できれば、多世代の交流も生まれる。

5箇条目は「バスに乗りやすくしてほしい！」とした。高校生はバス通学も多く、バス乗降場は屋根が狭いため雨が降ると濡れてしまう人が多くいる状況だ。また、JR構内には上り方面には休憩所はあるが、下り方面にはない。改善してもらえたらと思う。



B班

B班では「西のウォークブル・東のモビリティ」という将来像を掲げた。これは、駅前通りを挟んで地区を東西に分けてまちづくりをしようということ。例えば、西側は三交通りのほかにも良い店が点在し、路地なども魅力的なので、歩くことを前提に整備できないかと考え、「西のウォークブル」と位置付けた。また「東のモビリティ」は、本庄駅前には交通結節点のため、「西のウォークブル」を歩行者中心とすれば、東側は車中心として棲み分けをしないと、ケンカしてしまう。駅北口にある駐車をすべて集められれば良いが、それは難しいため、東側に駐車場の拠点を作り、その拠点を出発点として「西のウォークブル」に結びつけていけるような位置付けの下に整備ができれば良いと捉えている。

また、ビジョンとして、駅前を「玄関口」ではなく「リビング」にすることも考えた。駅前を通過するだけでなく、滞留できる空間に位置付け、西側も含め店などを誘致して、人がどんどん集まっていくようなエリアとしていく。

そして、歩きがメイン―歩くことが当たり前で、「歩行者専用」という言葉ではなく、「楽しく渡ろう」という概念をこのまちに落とし込めたらと考え、あえて「導く」という漢字を用いて「導路づくりをすすめよう！」というコンセプトを挙げている。これは、「道」の漢字を使うとどうしても車を思ってしまうところから、「導く」という感じを用いている。



C班

「全ての世代が住みやすく愛着が持てるまち 本庄」を将来像とし、取り組むべきことを3箇条と設定した。

1つ目に「歩行者が安全に歩ける動線」を掲げた。本庄市は車社会であり、北口周辺は子どもに危険な道路や狭い道路が多く、また、車の交通量が多い主要な道路には電柱が立っているため、歩行者は車道側へ出て歩いている。子育て世代への配慮からベビーカーでも通れるような歩道整備を行うこと、電柱地中化により歩行者が安全に歩けるような道路を作ってほしい考えた。具体的な道路としては、朝日通りを重点的に議論した。

2つ目は「みんなが使いやすい公園づくり」とした。子育て世代目線で考えていたが、子育てだけではなく色々な世代との交流も必要で、多世代が利用できる開いた公園が必要。若泉公園などは老朽化が進み、おむつ替えなどがしにくく子連れに使いづらい部分があるし、ポケットパークは道路に面しているため、安全性が保たれると良い。また、公園には駐車場が必須であるほか、近くに買い物できる場所があれば、公園で遊んでから店へ行くというような動線ができるのではないかな。

3つ目は「公園と他施設との連携」が必要と考えている。多世代で交流できる公園に、小中学生が遊べる児童館のような施設や水遊びできる施設を併設したり、健康上の理由からウォーキングしている方もいるため健康遊具を設置してはどうかなど、使いやすい公園づくりを考えた。また、例えば使われていない駅前ビルを子育ての活動の拠点にしてもらうことや、公園を公園として使うだけではなく、駐車できるスペースがあり、セントラルパークのように人が集まる拠点になれば良いと思っている。



本庄駅北口周辺整備に向けた市民ワークショップ（第3回）

D班

D班は「本庄Base」を将来像とした。「Base」とは基地で、要するに集約してほしいということ。駅前通り、駅前を中心に開発を進めてほしい。駅南口と北口の大きな違いは歴史にあり、様々な歴史的建造物や古い路地もある。一方で、防災的な観点からどう活用するか。古民家を活用してカフェをオープンさせる例もあるが、古いといっても50年前、100年前など色々な古さがある。それをどう活用していくのか。使う人の負担は。具体的な手段は。歴史的建造物を売りにするとしても、難しい点は多々ある。

また、駅前通りを東西で、歩き中心、車中心で分けるという形も考えている。20～30年後にどういう本庄市になっていたら良いか。ランドデザインをどうしたら良いかを考えると、古いまちなみを生かした歴史的なまちにするのか、再開発して新しい何かを作りあげるのか。そういうことはこの機会がないと考えなかったと思う。

将来像のための1箇条目は「シンボル通り」とした。具体的にひとつの通りを決め、そのシンボル通りを中心に商店や飲食店が集中するような整備をしていけたら良い。

2箇条目は「駅前ににぎわいを創る」とした。駅通りは電柱地中化により広がっているが、まだ活性化には至っていない。イベントなどを開催することによりにぎわいを創っていく。「イベント・人を集める」についても同じで、定期的に市などを開催していきたい。

3箇条目は「路地・歴史的資源を活かす」とした。煉瓦倉庫などはきれいに整備されているが、それをどう生かしていくかが大切。路地はキーワードだが、全部の路地ではなく、「選択と集中」により整備する。ただの路地ではだめで、そこに何か店や魅力がないといけない。それを求めて住む人もいると思うが、商業的地域と住む場所は分けるべき。色々と整備していくにしても、昔の路地がゴミゴミしていて消防車も入らない。そこを再開発するのか、徹底的にリノベーションしていくのか。その点もこのWSをきっかけに考えてもらいたい、古民家を活用するにしても消防法などがあり、古さにも限度がある。床が抜けるような古民家は誰も借りてくれないため、多少なりとも整備して貸しやすいようにする制度も必要。同時に、人を呼ぶためにイベントやマルシェ等で、コツコツと人を集めていく。

20～30年後はあくまでも将来像の話だ。今日参加している高校生、皆さん方には30・40・50年後に「あの時こんなことをやっていた」と思い出してほしい。まずシンボルは駅前で、集中して店を作っていく。東側と西側を分けるような作りで将来像を含めて考えており、皆さんが考えたこと全部が一緒にできるのではないかな。そういう形で「本庄Base」を作っていきたい。

E班

私は本庄駅北口に住んで40年になるが、北口は40年間変わっていない。今回の議題とずれるかもしれないが、少しお話をさせていただく。

物事を考えるときには、現在・過去・未来という切り口で物事を考える癖を付ける必要がある。私自身も、このWSが始まる前のうちに「強み」と「弱み」を整理した。物事を簡単に言うと、歴史を見るか、今を見るか、未来を見るかになる。残念ながら本庄市は歴史を見てばかりで未来を見ていない。そして現在自分はどのような位置にいるのか、評価していない。

結論から言うと、本庄市は住みやすいまちに変わらない。一般的に、駅を降りて左側のまちは発展する。それを考えると、駅前通りの西側は安心するまちづくりが必要だ。一方で、安心ばかりではダメで、稼ぐこと・活動しなければならない。活動の起点をどこに置くか、現在自然にできている駐車場が駅から東側にある。あれは活動するに適した場所で、自然と整備されてきたものになる。駅を降りて真っ直ぐの道が未来になる。あの道をどう展開して



いくか。駅を降りたら活動の起点となる場所から、生活の基盤となる西側、その先の未来に紡ぐ駅前が両隣にある、そういう北口にする。学生諸君には今回の議題を広い切り口で捉え、そのうえで「弱者にやさしい」を作してほしい。色々お話したが、E班としての結論は「若者に任せる」とした。議論の結果は、B班に近い部分があった。

講評

大日本C 青木

3回目のWSということで、今回は属性別の班にしたため、それぞれ異なる意見をいただいた。

B班の発表では「ウォーカブル」の話が出てきた。歩いて回れるという部分に関しては各班でも出てきているが、高校生が自転車で通学することに関しても、安全性が確保されなければならない。また、歩いて回れるよう、車を気にせず歩けるようにならなければならない。こういう

「ウォーカブル」の視点は、まちなかの回遊性を上げるために必要だという意見が多かった。また、駅前に関しては「駅前をリビングにする」や、「駅前に子育て支援施設がほしい」「カフェがほしい」など、駅直近のロケーションに対して拠点的な機能を設けていくことが挙げられた。また、ビバモールが開業したことで、ビバホームの跡地があるため、駅北口としてこの部分は駐車場とするのか、拠点施設を整備するのか、上手に生かすことが求められている。

子育て世代を見据えて「公園・みどり」として「子どもが遊べる場所がほしい」というなかで、駐車場に言及したのはC班だけだった。やはり子どもが遊ぶときに車で公園へ行かなければいけない状況があり、すべての人がそういうわけではないが、こういった視点も本庄ならではの視点である。

高校生からはバス利用の話が出たが、駅前広場のバス利用が便利になるような形は必要だと思う。

最後に発表したE班には私も入っていた。「未来のことは任せる」と話をいただいたが、良きアドバイザーとして活動したいということだと思っている。グループの中では、まちなか居住の推進の話も出てきたが、「日常生活の利便性を上げていくこと」と「イベントによるにぎわい」はタイプが違うが、どちらにせよ人に住んでもらわなければいけない。その入口がイベントなのか、住んでもらってから商売して活性化するのか。これはどちらが正しいわけではないと思うが、その両輪が回って初めてまちなか再生が進む。今回でWSは最後になる。結果については整理し、今後お返しすることとなるので、その際にはご参加いただければと思う。

吉田市長

第1回ワークショップの冒頭にも申し上げたが、今までの北口には様々な構想と計画があったものの、実現には至らなかった。しかし今回は、しっかりとインフラ整備に結び付けていくことを大命題としている。そのためにはどうすればよいかというところで、みなさんの意見を伺うため、このワークショップを開催した。実際にどこから話を進めるかといえば、ここに道路を引けばよいという話ではなく、「どんなまちにすべきか」という話し合いだと思う。そういう意味で、なるほど、と思わせる提案がいくつもあった。事務局からも話しがあった通り、みなさんの意見を無駄にしたくないという思いがある。色々な方に意見を聞きながら具体的に進めたいという思いがあるため、今日の意見をしっかりと受け止めて市もやらなければいけない。ぜひこれからもみなさんに参加していただき、具体的にまちの活性化に進み続けたい。「本庄に住んで良かった」と言ってもらえるような、本庄の北口整備に繋げていければと思っている。



駅北で取組むべきこと 5 箇条！

一、憩いの場がほしい！

うどん屋しかない

カフェ

新作が飲みたい

飲食店
スタバ
カフェほしい

待ったり
オシャレ
暖かい

セーブオン
(南にはセブンイレブン)
市営駐輪場

でっかい
商業ビル
(都会っぽさ)

映画館

一、通学路安全に！

通学路

自転車
通れない

道が細い
東高の通学
車道にはみ出す

駐輪場
一時的に
置けない

車停まって
車道脇を走れない(自転車)

迷路

一、夜も安心に！

夜、治安が悪い
怖い
居酒屋多い
⇒怖い

トイレ汚い
使えない

夜も安心して
使える

一、緑がほしい！

駅前、ビバ跡地
みどり、芝生

公園・ひろば
↓
動線上

池、ブランコ、遊具
揃った公園

一、バスに乗りやすくしてほしい！

**バス
乗降場**

**2列でも
大渋滞**

バス乗り場
シェルター狭い
(雨の時)

JR構内 下 休憩スペース
ない

その他挙げた意見

学生が
ニコニコ笑う
本庄市

学生に優しい
まち 本庄

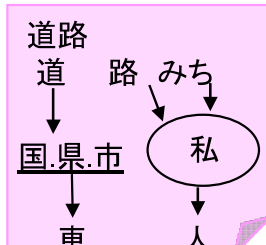
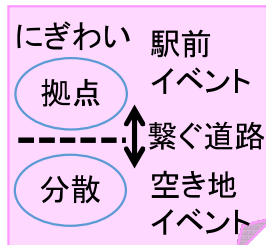
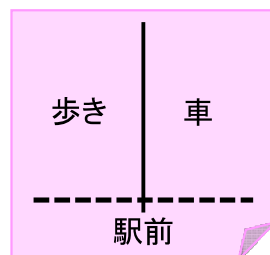
若者が
住みやすい
まちづくり

駅北で取組むべきこと 3 箇条！

一、西のウォーカブル・東のモビリティ

にぎわい

生活



駅近の公園
多目的利用
世代間交流
マルシェ
子どもの遊び

⇒ エリア分けを踏まえて
空間づくり

一、駅前を玄関からリビングへ

駅前

駅利用者
↓
駅周辺利用者

駅前に広場や
飲食店

駅前に人が滞留
できること
↓
「駅近」でなく
あえて「駅遠」の
駐車場

待ち合わせ
できるカフェ
飲食店

⇒ 駅だけでなく
駅らへんを使う！

一、導路づくりをすすめよう！

道路

朝日通りを
歩行者・自動車
共に通しやすい
道へ

朝日通りを
歩行者・自動車
共に通しやすい
道へ

駅から朝日通り
間に
駐車場不要

駅西通りを
歩行者優先に
にぎやか！
お店！
はにぼんプラザ

駅西通り
・歩きやすい
空間
・イベントしや
すい空間

駅から
はにぼんプラザ
への道のりを
楽しく
できないか

三交通り
朝日通り
・小さな民投資を
誘発
・小⇒大
エリアに集積
都市再生推進法人
(歩行者利便
増進道路)

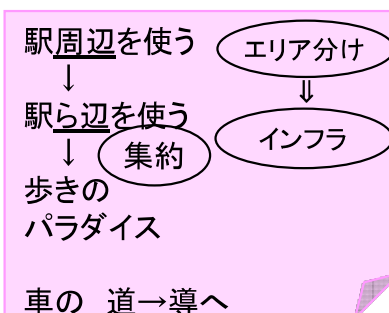
三交通りは
歩きのメイン
ストリート

歩行者重視の
道路づくり
・朝日通り
・銀座通り

今ある路地は
そのまま残した
い⇒魅力として

⇒「歩き」がメイン(当たり前)に！

その他挙げた意見



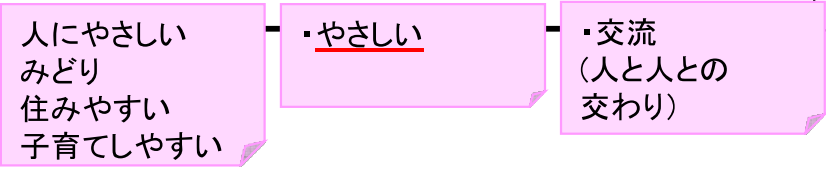
【東口】
フォルテ
病院
・こっちのアクセ
スを重視
・人と車の住み分
け

・大きな投資
民と公
(PPP)
・車
群馬ナンバー

完全に通さない
人の動きのみ
社会実験

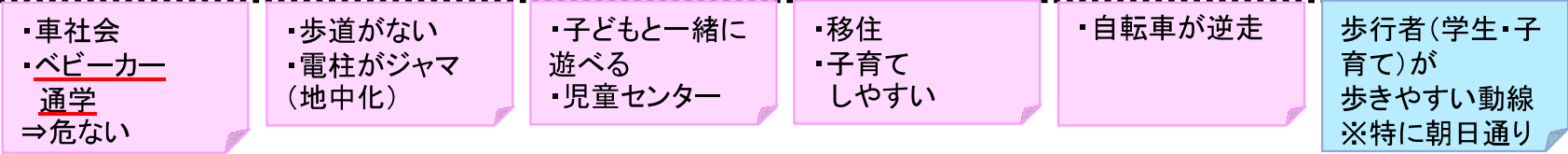
はにぼんプラザ
煉瓦倉庫
図書館

・消費を目的とし
ない装置
・コミュニケーション
・真の豊かさ

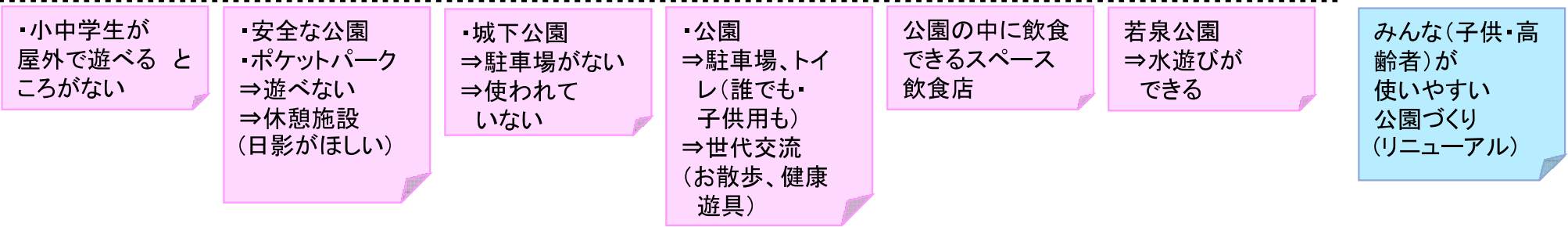


駅北で取組むべきこと 3 箇条！

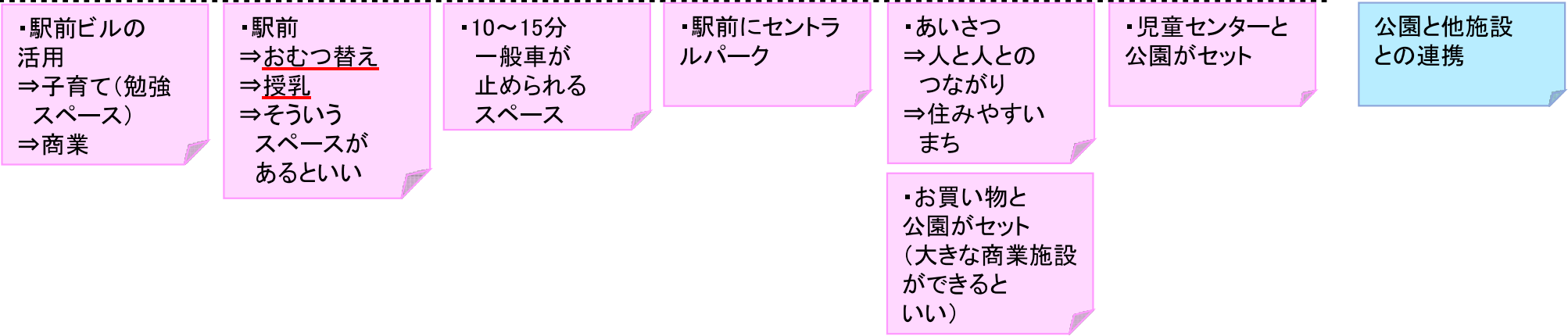
一、歩行者が安全に歩ける動線



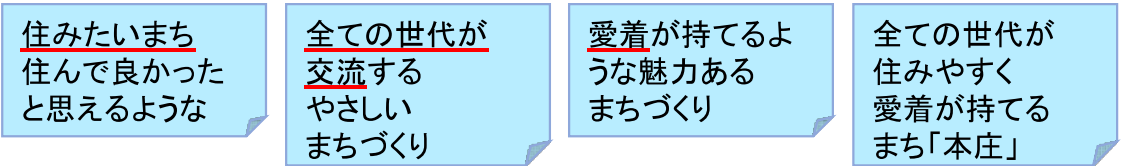
一、みんなが使いやすい公園づくり



一、公園と他施設との連携

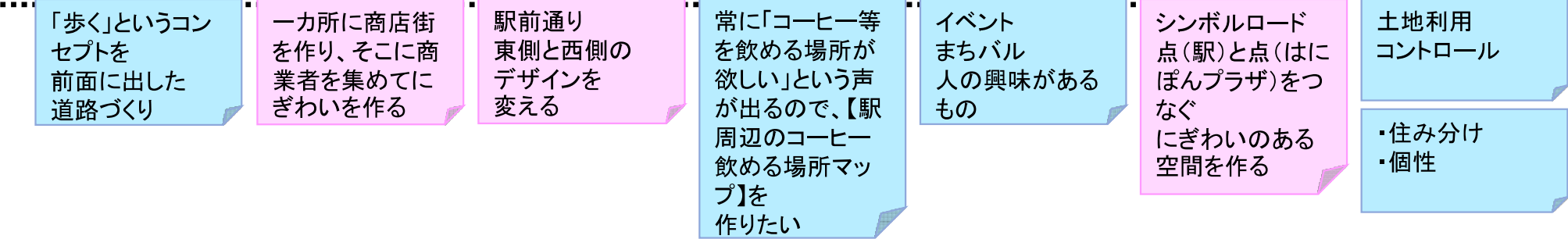


その他挙げた意見

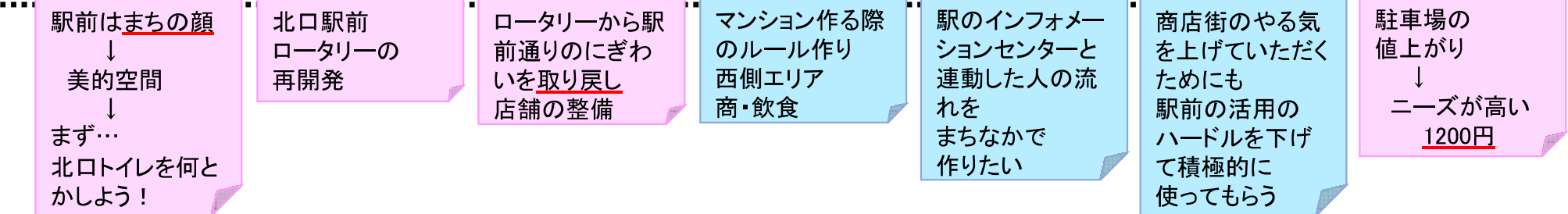


駅北で取組むべきこと 6 箇条！

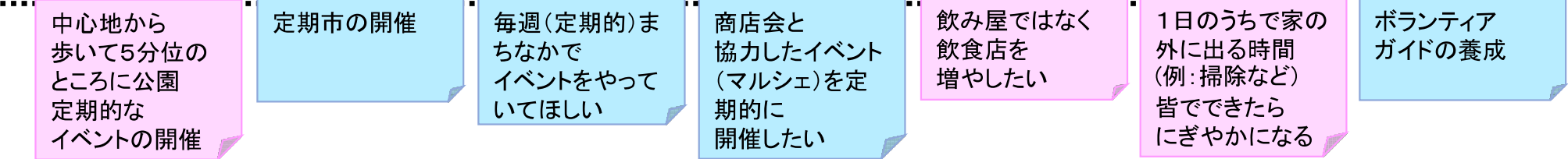
一、シンボル通り



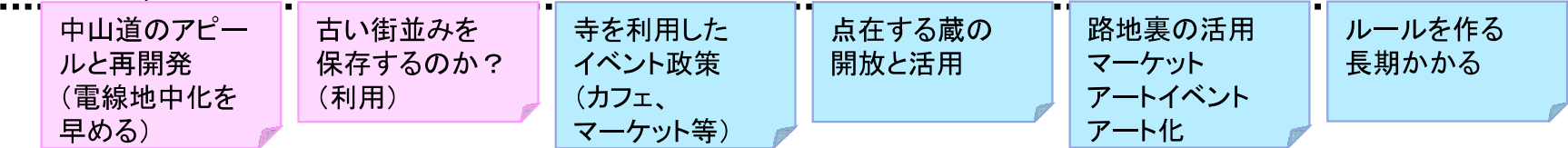
一、駅前ににぎわいを創る



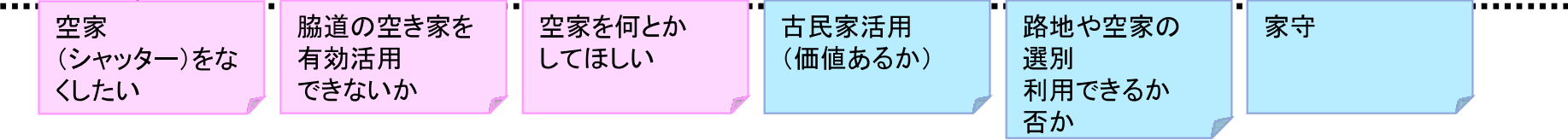
一、イベント・人を集める



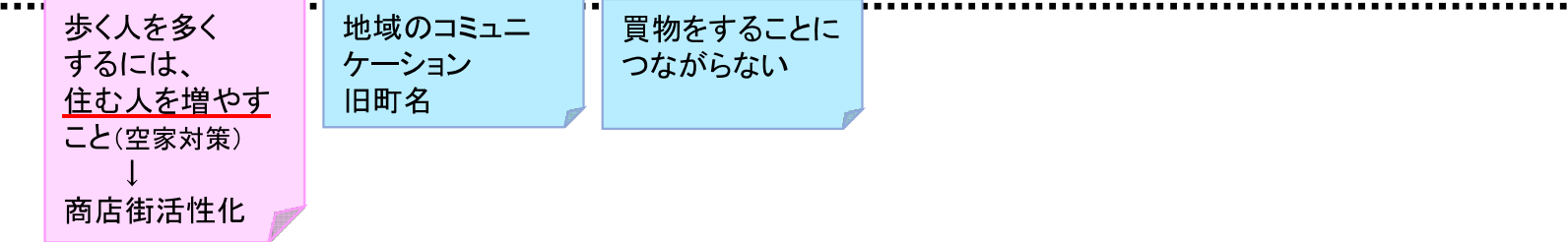
一、路地・歴史的資源を活かす



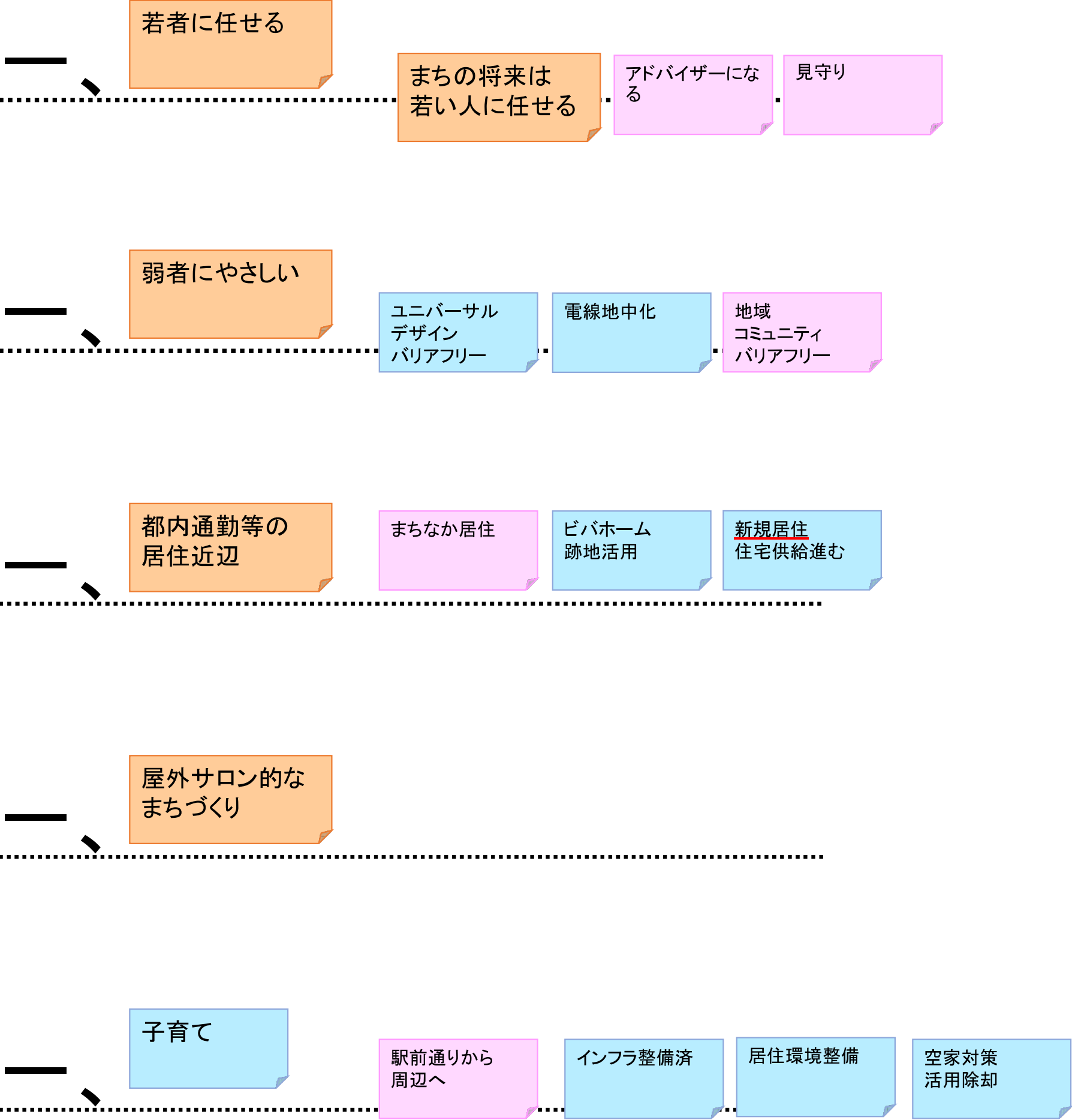
一、空き店舗、空き家活用 何ができるか



一、住む人を増やす



駅北で取組むべきこと 5 箇条！



その他挙げた意見

